

令和6年5月教育委員会定例会会議録

日時 令和6年5月27日（月）

10:00～11:50

場所 役場 第4会議室（3階）

出席者：森田教育長、山下委員、馬場委員
松尾委員、富木委員

事務局：朝長次長、筒係長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 全員出席

2. 会議録署名委員氏名

馬場委員、富木委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

（4月定例会の会議録を確認。）

4. 報告事項

1) 教育委員会

4・5月事業報告、5・6月予定について

（別紙により朝長次長報告）

2) 給食センター

4・5月事業報告、5・6月予定について

（別紙により筒係長報告）

※報告事項（追加・その他）

森田教育長	付け加えをします。3ページ、8日町の文化協会の総会があります。次長に参加していただきましたが、文化協会の方々から様々な要望等がありました。17日ですが、町のスポーツ協会、以前は体育協会と言っていましたが、太田秀穂会長が長年ご活躍頂きましたが、今回でご勇退という形で、三役会を開いて人選を行い、新しい会長副会長について、これから内諾を得るような運びになっています。4ページ、今日午後から、中学校教科書の採択協議会の件で、山下委員さんと私と担当係長で川棚の方に参ります。4年に一回のことではありますが、教科書の採択について動きが始まっています。30日郡の体育協会、郡の場合は体育協会という名称になっておりますが、郡の体育協会の理事会が行われます。事務局は、昨年度までは本町でしたが、川棚の方に移動しています。その日に、JAから1年生
-------	--

用の黄色い傘の贈呈を頂くようにしております。明日の連絡協議会の後に、町村教育長会の第1回協議会がそのまま29日佐世保の方で行われますので、私は次の日も参加という形になっております。28日JA婦人部さんが、味噌づくりを小学生に体験して欲しいということで、5年生でご飯とみそ汁という調理の学習がありますので、その時使う味噌を自分たちで作ってみようということです。JAさんから働き掛けもありましたので、3小学校とも味噌づくりから挑戦させようと、打合せを行います。6月のところです。2日日曜日、ライオンズクラブの第40回青空天国の集いが、中央小学校の体育館やグラウンドで行われます。ペットボトルロケットを飛ばして遊ぼうということが、今回のメインになっていたようです。8時半開会で、参加をしてきたいと思います。11日火曜日、郡の中体連の陸上競技が、東彼杵のシーサイド公園で行われるようになっています。8日土曜日、絵本で遊ぼう、町内の読書ボランティアの方々が一堂に会して、子供たちに絵本を紹介される絵本で遊ぼうが、10時から小ホールで行われます。同じ日に、皿山人形浄瑠璃の小屋入りが行われるということが、昨日連絡がありました。9番の町民インディアカの時に、東彼杵町総合会館で東彼音楽祭が開かれます。19日東小の学校訪問の夜ですが、青少年健全育成運営委員会が行われます。それと、後半部分です。学校訪問が南小が26日、そして27日が中央小、27日がもう一つ被爆体験講話、実際に被曝をされた方々を講師として招いてお話を聞く催しが、中央小学校と南小学校が今回当たりましたので、27日は南小学校で講話を聞くようになっています。26日東彼地区の学校警察連絡協議会が、26日15時から改善センターで行われます。28日が南小学校の人権教育研究大会の中間発表が行われますが、今回は教育委員さんのご参列はなくて、本番の方でお願いしたいと思います。併せて、昨日中体連の武道球技があつて、今日代休となっていますが、校長教頭の方から結果についてメールが送られてきました。今年はちょっと厳しいかなと思っていましたが、サッカーが優勝、ソフトボール優勝、バスケットボール男女とも優勝、ソフトテニス女子優勝、柔道男子団体優勝、野球優勝、バドミントン男女とも優勝という形になっています。

バレーボール部はどうしても女子しか今いませんが、川棚中が圧倒的に抜けています。ただ、昨日会場に行ったら、部員数がこの前までいなくて休部状態でしたが、20人ぐらいに増えていて一番多かったです。波佐見中学校が今後強くなるかなと期待をしています。卓球の個人戦では1番2番取っていますが、卓球男女、バレー女子、ソフトテニス男子が優勝できていません。他はほぼ取っているようです。剣道はどうしても川棚さんが強いので、よく頑張っていたのではないかなあと思っています。今生徒数が波佐見中学校で約380名、川棚中は320名しかいません。東彼杵は本町の半分です。以前と比べかなり減っている現状と、入部していない子供たちもかなり増えていますので、川棚中学校は単独で野球はありません。東彼杵と川棚が合同チームです。中学校の部活動移行の前に、合同ということを

もう考えていかなければなりません。三つの中学校で部を作って、県の方に参加をするという形が、一番早いかと思っています。吹奏楽部は、去年の末ぐらいからもう合同練習を始めています。ただ幸いなことに、波佐見中学校は単独で全部今まだ出ていますが、川棚中と東彼杵中は合同でないと、団体には出られないという厳しい現実が今も迫ってきているということがあります。

はい、少し長くなりましたが、ご意見ご質問がありましたらお願いします。

松尾委員

陶器まつりの絆の日の中学生の給食センターの食器配布はどうでしたでしょうか。

森田教育長

結局最終的には6,000枚近くありましたが、全て無くなりました。かなり評判があっています。もちろんマスコミにも取上げてもらったところもありますが、中学生が約1/3、110名ぐらいの子が参加したいと手を挙げてくれて、とても嬉しかったです。特に、野球をやっている南小の子でしたが、今まで自分は一度も陶器市に参加したことがなかったので、こういう機会があったので積極的に参加したということでした。参加してみて、とても楽しかった、やりがいがあった、お客さんが笑顔でとか、あるいはゴミ拾いをしていたら、素晴らしいねと声を掛けられとても嬉しかったということで、是非次回もこういう機会があれば参加したいというのが、ほとんどの感想でしたので良かったと思っています。先生方も準備から当日の参加からまで、とても協力的でとてもありがたいと思いました。あの時は、NCCと長崎新聞に情報提供をしていましたが、KTNさんも来てくれて、逆にKTNさんが、SDGsの取組としてとてもユニークだということで、特番を組みたいと今言われているようです。同時に、波佐見町の歴史みたいなものが、ちょうど夕方のニュースであっていましたが、それもあり長くあっていたので、ありがたかったと思っています。能登半島義援金が25万円集まりました。これを、今後どうするかということで、今中学校で協議をされています。

今回の取組は全体的にはとても良かったので、今後はもうお皿はありませんので、今後どういうふうに地域参画をさせていくか、また小学生の参加をどうするか、高校生の参加をどうするかということも含めて協議しながらやっていこうと思っています。それと、もう一つの講堂の取組が思ったよりも少なかったなので、この講堂の取組もどうしていくか、今後1年かけて小中高で協議をしていきながら、やっていうことをと思っています。永田校長とは、講堂で美工科の子供たちの作品展をやってみても良いのではないかと話しています。陶器まつりに25万から30万来られるので、すごいアピールになるのではないかと話しています。

はい、他ございませんか。もし、ありましたら、また後でも結構ですの

で、よろしく願いして、議題に入ります。就学援助認定について提案よろしく願いします。

4. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長 今回は、経済的理由の方はいらっしゃいません。児童扶養手当の方が3名いらっしゃいます。

【資料にて説明】

以上でございます。

森田教育長 継続ということで、3名の名前が挙がっていますが、承認よろしいでしょうか。

【委員全員了承】

持ち寄り議題につきましては、また後で受けたいと思います。その他の明日のことについて連絡方よろしく願いします。

5. その他

1) 令和6年度県市町村教育委員会合同研修会について

2) 学校訪問について

朝長次長 明日の研修会です。

【資料にて説明】

森田教育長 はい。今説明がありましたが、確認とかお尋ねございませんか。11時ぐらいに出発したいと思います。

渡邊指導主事 すいません。この第2分科会が部活動の地域移行になっていますが、先日県の担当者の方から、波佐見町の地域移行について、指名をしますので準備よろしく願いしますという連絡があっています。ですので、波佐見町の現在の進捗状況について、共通認識を持つため簡単にお話をさせていただいてよろしいでしょうか。

これまでも、何回か地域移行についてのお話をさせていただきました

が、そのあたりも振り返りながら、これまでのことと、これからの動きについて簡単にお話をさせていただきます。最初は、令和5年1月19日、令和4年度の最後に、地域部活動推進検討委員会を立ち上げて、第1回の会合を行いました。そこからがスタートということですが、第2回目が令和5年度、昨年度の9月に第2回目を行って、進捗状況と課題、今後のことについて、推進検討委員会で話し合いを行いました。

次に、地域のクラブ化の実証事業ということで、波佐見中学校のサッカー部と、スポーツ少年団デサフィゴ、小学生のチームが合同クラブとして、国の補助を使いながら1年間の実証事業を行いました。成果としては、小学校の子供たちが中学校のお兄ちゃんたちと一緒に練習することで、ちょっとレベルの高い練習をすることができました。中学生は合同チームを組んで指導しますので、そこで作戦を行ったり、動きの徹底とか小学生に簡単な指導もできたという、そこでの成果が上がってきました。それに先立って、保護者に向けて、地域移行について、この合同チームで実証事業を行っていくと説明を行いました。ここでは保護者の方からのご意見等はありませんでしたが、理解をしていただきながら進めることができました。

現在、波佐見中学校の部活は16部活あります。ここに15名の外部指導者の方が指導をしていただいています。その外部指導者の方に対しても説明会を行いました。そこでは、今年度2学期から、休日については学校部活を離れて、地域に委ねていきますということで、ご理解を得ることができました。まだ心配がないというわけではありませんが、そういうお話をさせていただいてご理解を得ています。

また、併せて中学校の部活動振興会の役員会が、4月に行われましたが、そこでは各部活の顧問、中学校の先生と外部指導者の方に全部集まっていたいただいて、その中で休日の地域移行について意見交換を行っています。私の方からは、今後の動きについて説明をさせていただいています。地域のクラブの保護者代表の方も、見えられていましたので、そこからの質問として、波佐見町は他の市町よりも一歩も二歩も先に進んでいます。が、他の地域の様子を見てからでも良いのではないかと、というようなご質問がありました。私の方で答弁させていただいたものは、今教育長の方からも話がありましたように、近隣の地域では、もう部活が存続できないような状況にあるので、一刻も早く先に進めていかなければいけないという話をさせていただいています。近い将来、波佐見もそのようなことが間違いなくやってくるので、形を早く作り上げていかないと、やりたい部活ができないということにならないように取り組んでいきますと話をさせていただき、そこは理解を得ることができています。また、ある外部指導者の方からの質問ですが、これから地域移行になると、部活動振興会はどうなるのかというようなご質問がありましたが、まずは休日だけの移行なので、まだ平日は学校部活があるので、振興会としてはそのまま継続し

て残っていきます。しかし、将来的には平日も地域クラブ化となっていくことに伴って、部活動振興会も廃止になっていくことになるというお話を差し上げたところ、柔道部の方からでしたが、部員がなかなか今集まらない中で振興会が無くなると、どうやって部員が集まってくるのかと心配していますということでした。そこは、部活動が地域移行になっても、その部員との関わりを持つような形を作っていかなければいけないということは、皆さん共通理解をされているところです。

その次に、部活動振興会の総会が行われました。保護者の方も、大ホールに集まっていたいて、県の担当者から地域移行の説明をしていただきました。その後に、波佐見町の取組も話をしました。そこでの質疑応答の中では、ご意見は出ませんでした。地域の方も部活動の地域化ということは、もう御存じなところもあって、進めていかなければというような思いを持たれているのではないかなというふうに思っています。外部指導者の方については、これまで部活動振興会の方から、年間の謝礼という形で4万円ほど謝礼が出ています。こちらの方は、波佐見町からの補助金が250万ありますので、そこから充てられております。昨年度、令和5年度は、外部指導者の方に対しての謝礼という思いも込めて、150万の増額をしているということは、以前もお話をさせていただいていますが、こちらの方は、令和5年度の指導に対する対価として、29日に支払いをすることになっており、時給1,000円単価で考えて、大体147万ほどの支払いをすることになります。

今後ですが、休日の地域クラブとなった場合、先生方もそれに参加ができます。例えば、平日は先生方が指導をされますが、休日は全く自分たちは関わらないという形ではなく、希望をされる先生方については、休日も指導できるシステムを作っています。そういう先生方には、兼職兼業の手続を踏んでもらうことになります。やはり先生方は、公務員として賃金を他所からもらうことができませんので、そういう手続をすることによって、地域の一員として指導に対する謝金賃金を得ることができるようになります。そのため、町の規則に追記をしておりますので、兼職兼業の手続の準備はできています。

今後についてですが、2学期9月からは、地域に委ねることになります。ですから、先生方も指導に関わりたいという思いを持たれている方については、そのような説明を行います。ちなみに昨年度、職員アンケートを行ったところ、休日も指導に関わりたい、必要があれば関わっても良いと思われている先生が、他の市町、全国的には2割から3割程度ですが、波佐見町はそれより多かったという思いを持っています。今後は今年度来られた先生方に対するアンケート及び、兼職兼業についての説明を、この1学期中に行ってまいります。2学期からの休日の地域クラブ化に向けて、更に準備を進めていかなければ思っているところです。本当に、簡単に説明を行いました。このようなことになっていますので、波佐見町に

振られた場合には、どうぞよろしくお願いします。

森田教育長

長与町さんがご存じのように、先進的・全国的なところではありますが、長与町は特例なので比較材料になりませんが、波佐見町の今の取組は、県としてもモデルとして高く評価をしているのではないかと思います。他の自治体に比べても、かなり進んでいるのではないかと思いますので、次の日の教育長会の中でも、このことを話題にしていきたいと思っています。

はい、学校訪問について、どうぞ提案をお願いします。

渡邊指導主事

学校訪問について、期日をお示しさせていただいているところです。こちらの方は、学校と調整をしながら、第1希望、第2希望、第3希望まで取りまして調整をさせていただいております。6月5日から波佐見中学校で訪問を始めさせていただきますが、こちらの方も例年と同じように午前中の開催になります。まず、学校長の学校経営方針について説明を受けた後、各教室を回っていきながら授業の様子を見ていただきます。じっくりと見ることはできませんが、授業の雰囲気であったり、学級の子供たちの様子等も見ていただきながら、1時間ないし2時間程度の参観していただきます。そのあと、また校長室で意見交換を行いたいと思っております。併せて、いじめ防止対策チーム及びサポートチームの皆さんにも、ご案内をしております。この4日間につきましては、まだ詳細な時間がはっきりしていませんので、分かり次第ご案内をいたしますので、よろしくお願いいたします。私の方からは以上です。

森田教育長

その他の1と2、いま説明ありましたが、ここについてお尋ねご質問ございませんか。

朝長次長

27日は東小と書いていますが、中央小の間違いです。中央小学校ということで訂正をお願いします。

渡邊指導主事

先生方との顔合わせの時間を取っていただいておりますので、委員の皆さまには簡単に一言ずつお話をさせていただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

森田教育長

他ございませんか。今の件で無ければ、持ち寄り、その他ということに入っていきたいと思います。

カラー刷りの波佐見高校からの資料、裏が時間割になっているものです。永田校長が相談があるということで持って来られました。今波佐見高校に通ってくる子供たちの実態を踏まえた中で、何を波佐見高校の特色とするかというところの部分で、子供たちの実態や、子供たちに社会に出て生きる力、社会性を伸ばすということを、波佐見高校の大きな柱にしていきたいということでした。新たな学びの探求というところで、SSTソーシャル・スキル・トレーニングとありますが、社会性を身につけてさせていきたいというので、学びの共同体、協議、意見交換をすることで、学びを深めていくという授業スタイルを取り入れて行きたいという提案がありました。とても良いのではないですかという話をさせていただきました。裏の時間割を見てください。左側が現状です。1時間50分の授業を6時間の30コマで今授業を行っていますが、今後は、地域貢献、地域の中で生きる人材、あるいは社会に出ていける人材ということを目指し、少し時間割を変えて、右側45分の7時間制にして、赤字のところ、波佐見学というのを時間割に組み込んで地域貢献をしたいということでした。例えば小学校中学校の美術の授業を教えに行くとか、独居老人に様々な町内のチラシだったり、届け物を送り届けるとか、様々なことで、高校生を地域に貢献させるような活動を時間割の中に組み入れていって、波佐見町に貢献をしていきたいということでした。県立ですから、これは県の条例規則には大丈夫ですかと尋ねたところ、それは大丈夫ということでした。独自性のある取組として今県が求めていることなので、そういう法的な心配はまずありませんということでした。できれば今年度の3学期、あるいは令和7年度から、こういうスタイルで始めていきたいという面白い提案でしたので、前向きに検討されて良いのではないですかと話をしました。とても面白いと思っています。

はい、では持ち寄りの部分で、委員の皆様から、お気づき、ご意見、ご要望等ありましたらお願いします。

馬場委員

先ほど渡邊先生から、クラブ活動の地域移行についてのお話がありましたが、波佐見町での今の流れを報告頂きましたが、ある外部指導者の方から、もう長年やっているの、どうにかして欲しいと良く言われています。やっぱり長年やっている方の次の交代要員ではありませんが、そういった人たちの募集をちゃんと考えておかないと、地域移行になった時に、じゃ次は誰がするのという話が出てくるだろうと思うので、そういう募集の方法をどうして行けば良いのかと心配しています。そこがどこも一番の問題ではないかなと思っています。

渡邊指導主事

ありがとうございます。やっぱり、ここが一番の大きな課題であって、今外部指導者として15人登録されています。ただ、女子ソフトボールはゼロです。先日、ある方がソフトボールで国体選手だったということを聞きましたので、ちょっと話をしてきました。話した後、考えておきますということでしたので、まず様子を見学に行ってからでも構わないので、ということも話をさせていただきました。なかなか、そういった情報があまり集まってきません。今後また検討委員会を開きますので、その中で、体育協会、スポーツ推進委員の会長さんもいらっしゃいますので、そこからいろんな情報をいただけないかと、依頼していきたいと思っております。いろんなところにお話をさせていただいて、人の伝手というところしか、今のところはないのかなと思っているところです。

森田教育長

外部指導者の確保も、休日はまだ何とかなると思いますが、これが平日となると、その方がお仕事を休んで来なくてはいけなくなった時、果たしてその理解がもらえるかとなると、とても大きな不安、一番大きな問題となります。実際、長与町でも地域クラブは結構ありますが、運営をしていくとなると、部費をかなりの額、納めてもらうことになるし、また外部指導者を確保するために、また別にかなりのお金を納めなくてはいけないという現状があるようです。これが平日になれば、その2倍3倍のお金を保護者に出していただくということが大きな課題となります。本町の場合は、スポーツ少年団がとても盛んで、スポーツ少年団と部活動の関係者が結構つながっていて、それと体育協会所属のスポーツ団体の活動がとても盛んなので、そういう点では横の連携がとれているし、縦の連携もありますので、比較的他の自治体に比べると、外部指導者の確保は、今のところしやすいのではないかと思います。ただ馬場委員さんがおっしゃったように、後継者となるとなかなか難しいところがあるので、今人材リストを各部ごとにまとめて一覧化をしています。それと謝金の確保です。渡邊指導主事が話したように、これまでは部活動振興会に250万の予算化を町で行っていましたが、令和5年度から150万増額をして400万円にしています。今年度はそのうち200万を、外部指導者の謝金に充てるようにしています。これも他の自治体にはまだないというところで、県も高く評価をしてくれています。先ほど言ったように、県のモデルで1時間1,000円を目安にして、出場回数に応じて支払う形にして、今まで一律4万円で、1回しか来ない人も4万円、20回来ても4万円でしたが、そこを見直して回数でしていきましょと、いい意味で平等になっていく形で、今年度からスタートしています。人数の確保の部分と、お金的なものをどう確保、補償するかということについても、本町としても十分検討しながら、今のところやれる最大のベストを尽くしているのではないかと思います。渡邊指導主事が話したように、東彼杵中学校の子供たちは人数が揃わないの

で、サッカーをしたい子は3年間サッカーができません。それはあんまりだね、そこを何とかしていかないという大きな目標があるので、本町も早め早めに対応しておかないと、間に合わないかもというところがあります。それと、いかに保護者の負担を増やさないで、どうサポートができるかという、町としての取組と、民間へいかにこの輪、思いを広げていって、民間からのサポートを受けるかというところは、ちょっと知恵と、汗をかかないといけないかなというところが今の現状です。ありがたいことに、波佐見は陶器会社等々があるので、そこに働きかけることによって、子供たちの支援をお願いする具体的な計画を立ててやっていきたいと思っています。でも、あまり慌ててはいません、あまり焦るとよろしくないことが多いので、ぼちぼちやっていければと思っています。

富木委員

一つの部に一人の指導者といいますか、そういう今の状況なんですよ。やはり平日までとなると、そこには責任なり負担が、かなり重くのしかかってくると思いますので、できれば複数の指導者が理想だと思います。そうすると、自分も行くから一緒にどうですかというような呼び掛けもできやすいのではないのでしょうか。

森田教育長

現実はかなり難しいと思います。教員が、部活動が地域移行になった時、休日でお手伝いしますという教員は、全国平均では3割弱です。3割とってください。でも、波佐見中学校のスタッフ職員は、ちょっと高いです。詳しいことは言えませんが、高いです。その方々が、土日は地域人として、参加をしていくことになっていきます。今女子ソフトボール部で民間の外部指導者の方はゼロですが、今指導されている先生が「しても良いですよ」と言われる可能性はゼロではないのではないかと思います。今後、先生方の意向調査をしながら、先生方が地域人としてクラブに参加頂ければ、さらに充実した体制が出てくるとと思いますが、平日以降になった時、お金の問題と富木委員さんがおっしゃった責任の問題が出てきます。誰が責任を取るんですか、誰が責任もってリードされるんでしょうかという部分、あるいは教育的な意義も含めて、そこは大きな問題ですが、8年度以降の話題になりますので、まだそこは私たちも慌てないで、情報収集しながら、実態、実情、思いの部分の伺いながら進めて行ければと思っています。他ございませんか。

山下委員

先日、南小学校の運動会を見学させていただきました。競技内容が1年生から3年生までは団体競技と徒競走と表現、4年生から6年生までは全員リレーがあり、各学年3種目で構成をされて、とても時間的にもスムーズに進められていたなあと思いました。中でも3年生の台風の目という競技があって、そこでは、内側と外側の回る速度を変えて走るということ、先生方のご指導がよく行き届いていたなと思いました。普通中学生でも難

しいような競技を、3年生がスムーズに行っていて感心しました。あと、閉会式に6年生のA君とBさんが児童代表で挨拶をしてくれましたが、弁論大会で言っているような、とても素晴らしい表現の立派な言葉で、とても心に伝わりました。こういう挨拶を聞いたのは、何か久しぶりだなと感心しました。

それから、終わった後に、児童のおばあちゃんから、もう少し見たかったとご意見を頂きました。今はもうできませんが今までは組み体操とかあったりして、一日運動会でしたが、5月開催は変わらないので、もう少し内容を検討していただければと思いました。

森田教育長

ありがたいですね。特に南小学校さんが面白いなと思ったのは、応援リーダーです。だいたい4年生、5年生、6年生がするんですが、今年は希望する子は1年生から応援リーダーになれるということでした。面白いなと思いました。3校とも3種目でした。運動会が一日の時は5種目でした。駆けっこ、障害走、表現、団体、リレーという5種目を行っていましたが、4種目になり、今は3種目です。教育委員会からは、駆けっこ、表現は必ず残して欲しいと言っています。それ以外については学校に任せています。南さんみたいに、団体とリレーを学年で分けるところもあります。ただ、どうしてもリレーが盛り上がるということはありません。障害走、個人走がなかなか準備の割には厳しいところがあって、どうしても駆けっこが苦手な子どもを救うという障害走の意味はありますが、そこは団体で何とかできるんだろう、リレーでカバーできるだろうということだったと思いますが、3校とも3種目でした。それはそれで良いのかなと思います。障害走は、多分中央小の2年生だけじゃなかったかなと思いますが、それは学校が決めたことだし、練習等の時間があるだろうと思っています。先ほどのおばあちゃんの感想も分かりますが、この前いきいき大学でもお話ししましたが、運動会は10月までできないかもしれません。5月から10月までは真夏を思わせるような暑さですので、11月か12月頃に運動会を開催することになるかもしれないと思っています。そういう厳しい暑さですから、恐らくもう一日に戻ることは、熱中症対策も含めてもうないと思っています。短期間で、午前中に集中してやった方が、保護者の負担、あるいは見学、お弁当の準備も含めてですけれど、多分一日復活はもう厳しいのではないかと考えています。ただ、そういうおばあちゃんたちの楽しみっていうところも当然あるとは思っています。折角、種目数を減らすのだから、何か地域的なものが出来ないかなとも考えています。3小学校とも6年生は保護者種目になっていますが、例えば、波佐見節、波佐見音頭を復活するとかですね、もう少しそういうものがあっても良いのかなと思っています。ただ今、波佐見節、波佐見音頭は行っていませんので、5、6年生でも知らないという現状を考えると、かなりの時間をかけないと覚えられないというところが出てくるかなとは思っています。南小学校さんのしっとり感、

中央小学校さんの良い意味での運動会らしいざわざわ感、そして東小学校さんのアットホームなところなど、この3小学校の三者三様の運動会が毎年のように見られて、とても質の高い、あるいは温かいイメージの運動会だったなということは、私たちも感じさせていただいて、評価しているところです。はい、他ございませんか。

松尾委員 50周年に一日運動会をしませんかという話がありませんでしたか。

森田教育長 一応、古賀校長さんから提案です。まだ、はっきりしていません。

松尾委員 一昨年は11月に運動会したことありますよね。コロナで11月に行ったと思います。

私、今年は中央小学校に見学に行きましたが、練習時間が足りなかったように思います。低学年は仕方ないでしょうが、「集合」と声掛けがあった時、さっと集まってさっと並んでというのもやっぱり練習が大切だと思います。絆の日で10日間の休みがあつての運動会開催なので、保護者の意見としては、子供たちがなかなか盛り上がれなかったということでした。応援団に入っている子供たちの練習も、やっとうこうしよう、あーしようとなってきた時、10日間連続で集まらないというか、子供たち同士の話合いがなかなかうまく出来なかったという意見がありました。やっとうちょっと運動会行くぞと、盛り上がったところで10日間会わないっていうところで、何かちょっと途切れた感じがしていたという保護者の意見が上がってきました。10日をどうにか有効に使うか、また秋に戻していただくか、そちらの方が充実感はあると思います。本当にバタバタ練習して、これして、あれして、踊りも覚えないと、衣装も決めないと、みたいな感じで、保護者の方も結構混乱したクラスもあったようでした。あと、中央小は応援団が3チームでしたが、赤と青の2チームになっていました。それでも、少しちょっと何かバタつきもあったというふうに聞いています。

入退場門周辺の撮影とか保護者の立入りを止めてくださいという放送を、何回もされていましたが、上手にコーンとかを立てて、ここから入らないでくださいとしたら、多分入らないと思います。上手に誘導の線を作ってもらえばという感じでした。だんだん保護者が前に出てくるのは分かりますが、何回もそれを放送されていたので、何かもう少し手立てをしてからの方が良いと思いました。

馬場委員 人数もありますよね。私、東に行きましたが、最初から整列もキチっとできていたし、その後人数が多い中央に私も行かせてもらいましたが、やっぱりさっき言われたように、中央の雰囲気の良い意味でざわつきが、いや結構その周りの競技に対する時の保護者の対応みたいなものは感じますよね、実際、それはありました。しかし、東からぽんて行くと、運動会だ

なっているのを感じます。そこは、やっぱり学校学校の特色があると思いますが、やっぱり人数をまとめるとなると10日間では難しいけど、東、南ぐらいまでは、どうにか出来たのかという感じはしないでもありませんが、私はそんな感じがしました。

森田教育長

それで古賀校長も、もし来年もとなると、また10日間あるわけで、50周年ということで、もしかしたら来年は特別に秋開催とおっしゃって、11月ぐらいが本当は一番良いのかもしいないと思います。

3小学校の雰囲気がいよいよ出ていましたね。今、私たちも授業とかいろんなことで学校に行きますが、学校の現状、成果、課題が顕著になっています。3小学校の学力差、生活の実態を踏まえ、先生方も危機感を感じてられていますから、みんなでまた改めて盛り上げていきたいということは思っています。それだけのスタッフは揃っていると思いますので、期待をしながら、サポート支援に回れたら良いなと思っています。保護者啓発についても、かなりの頻度で発信もされています。

先ほど話があったように、子供たち同士の意見交換の中で、今回校内の研究テーマ等々も変えられているということでした。この前の、春の歓迎遠足のおやつについて、子供たちに話をさせましたということでした。今まで、先生方が食べ切れるまでということでした。300円とか400円という数値を示していましたが、今回は6年生に協議をさせて、そして意見交換をさせたということでした。最初1,000円という金額が出たそうですが、いろんなことを話し合っていく中で、最終的に400円ということをして、子供たち自身が話し合って決めたということでした。そういう力を子供たちに培いたいということで、共存共栄みたいなものを新しい学校での研究テーマにしましたと、おっしゃったので、本腰入れて保護者を交えてやっていけるだろうという期待を大きく持っているところです。

ただ、今おっしゃった意見については、また今後校長会でも意見交換をしていきながらということをおっしゃっています。はい、他ございませんか。

富木委員

今教育長が言われた話の中で、中央小学校のおやつ代の話が、各自治会を通じて回覧として回っていました。4月15日発送の中で、遠足のおやつ代幾らまでということを書いてありました。確かに今キャッシュレスの時代の中で、お金の大切さと言いますか、ありがたさ、親への感謝、そういったことを含めて、代表の6年生と校長先生が話されたのかということで見えていました。その中に、自立登校の進めということも書いてありましたので、こういったことが保護者の中で本当に伝わっていけば、良いのかなと思いました。学校だよりを見ていて、それぞれ学校の特色の中でされているのかなというふうなことで、見せていただきました。

森田教育長

他ございませんか。

山下委員	ゴールデンウィークの長い休みが続いた後の子供たちの様子で、体調不良や登校への不安などの変化は特に見られなかったでしょうか。
渡邊指導主事	はい。前回の校長会の中でも、絆の日についての情報交換を行いました。特に学校からは、子供たちの体調不良とか、そういったことは全く聞いておりません。陶器まつりや、友達と一緒に遊んでいたのではないかと思います。中学校は部活関係もありますので、そういった意義のある過ごし方をしていたのではないかと思います。
森田教育長	夏休み明けと同じように、ボーっとしていた子供はいたと思います。
松尾委員	各教科で宿題とか課題とか出ているのでしょうか。
森田教育長	全くフリーではないと思います。ただ、絆の日なのでという部分はあるとは思いますが、宿題という形ではないのかもしれませんが。そこは確認したいと思います。 基本的には、地域参画で何ができるかというところの部分で、結局ずっと本を読んでいても構わないという、こちらとしての思いはあるので、課題をしないといふ怒られるということはあまりしたくないとは思っています。ただ、そのことに起因して、学校に来なくなったとか、不適應とかそういうことはありません。これは、そういう実態があったので、進めたところもあります。本町の不適應、不登校の子供たちの実情は2学期です。9月になってから、来られなくなるというパターンが、ほぼ明らかになっていますので、この5月の連休云々でほとんど動きはありません。もちろんSOSが出ているかもしれませんが、実際に行動に結びつくのは9月1日以降です。ただ4月のSSW等々の意見交換の中では、中学校が随分今改善をしています。これは去年もそういう動向、動きではありました。3月末から子供たちが進級をして、子供たちなりに頑張らないかという思いもあるし、クラス編成があつて、新しい友達との出会い等々もあるだろうとは思いますが、今かなりの割合で学校復帰、あるいは学習室復帰ということで、中学生は良好な状況にありますが、小学校が固定化しています。 子供対応よりも、保護者対応がなかなか難しいところがありますので、なかなか子育てに対する思いの部分で、そういう関わりがどうしても薄い、あるいは他のところに向かっている保護者の方がいらっしゃるの、ちょっと気にはなっているところです。今日も渡邊先生が先ほど午前中1時間ほど保護者と電話でやりとりをされていました。子供が発しているSOS、助けてオーラを大人がしっかり把握をして、その子の思いの部分をしっかり聞いてあげて、どういう対応が一番ふさわしいだろうか、ベターな部分をやっていきながら、繰り返し関わって行くということは、多分こ

れは学力にしても不登校にしても同じことなのかとは思っています。

他ございませんか。はい。それでは次回の6月の教育委員会の日程を決めたいと思います。

【日程調整】

では、次回6月の教育委員会の定例会は、6月20日（木）の10時から、役場で行いたいと思います。

それでは以上をもちまして、5月の定例教育委員会を終了いたします。また、明日はどうぞお世話になりますよろしくお願いします。お疲れさまでした。

※次回定例会予定 令和6年6月20日 10時00分から
役場会議室

令和6年5月27日教育委員会定例会会議録署名	
署名 委員	馬場清治
	岡本義典